

第4学年 すこやか（総合的な学習の時間）学習活動案

期 間 平成16年8月27日～9月17日
対 象 東和町立土沢小学校4年生
男子11名 女子14名 計25名
指導者 谷 藤 明 子

1 すこやかの時間で目指す4年生の児童像

- (1) 自ら課題を見付け、自分なりの方法でねばり強く解決していく子
 - ・興味・関心を基に自分なりの課題を見付け、進んで調べたり、体験しようとしたりする子
 - ・自ら課題を見付け、自分なりの方法で追究・解決することができる子
 - ・課題解決の手順や方法を知り、それを生かして自分の課題を追究したり、その過程や結果を表現したりすることができる子
 - ・教科の学習で学んだことを生かして、課題解決の学習に取り組むことができる子
- (2) 人や環境とかかわりながら、自分の考えを深めたり共感したりすることができる子
 - ・自他の違いを見付けて認め合うことができる子
 - ・他とかかわりながら、自分の考えを深めることができる子
 - ・課題を追究・解決するために他とかかわり、方法を工夫して表現することができる子
 - ・情報交換をして得た知識を、自分の課題解決に生かしていくことができる子

2 国際理解教育において目指す4年生の児童像

- (1) 郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する子
- (2) 他との共通性や違いを探り、相手の立場に立って理解しようとする子

3 単元名 アンソニーさんと交流しよう

4 単元について

- (1) 単元について
本単元のねらいは、交流活動をとおして、児童の異文化をもつ人に対する共感的理解を深めることである。4年生における異文化をもつ人に対する共感的理解とは、「異文化をもつ人との共通性や違いを探り、相手の立場に立って考えようとする」とする。
- (2) 児童について
児童は、これまでの交流活動において、異文化をもつ人と楽しんで接している。また、実態調査から、外国の遊びやスポーツ、学校、食べ物など、自分たちにとって身近な生活や文化と関連することについて興味や関心をもっていることが分かった。しかし、交流した人の感情や考え方、生き方などの内面を共感的に理解するまでには至っていない。これは、異文化をもつ人と接しながらも、相手のことを理解しようとする意識が薄いことによると思われる。また、異文化をもつ人と感情を共有し合うような活動や、相手の立場に立って考えるような活動を十分に行ってこなかったことも要因として考えられる。
- (3) 指導にあたって
指導にあたって、本単元（計8時間）では、直接交流とふり返りを関連付けた交流活動を継続的に行う。また、異文化をもつ人に対する知識の上での気付きを内面的な理解へ深める指導の段階を「表層的な気付きの段階」「内面への気付きの段階」「内面の理解の段階」と設定し、その段階ごとに、異文化をもつ人と共に行動しかかわる活動、共に直接交流をふり返り感情を共有する活動、共感的理解の変容を自分自身で見つめる活動を取り入れた指導を行い、児童の異文化もつ人に対する共感的理解を深めるようにする。

5 単元の目標

- 異文化を持つ人との共通性や違いを探り、相手の立場に立って考えようとする
- ・異文化をもつ人と共に行動し、自ら働きかけようとする
 - ・異文化をもつ人との共通性や違いを知ろうとする
 - ・相手の立場に立って考えようとする

〔交流活動1〕 表層的な気付きの段階 学習活動案（第2・3時）

1 ねらい

児童に身近な生活や文化について、異文化をもつ人との共通点や相違点に気付かせる。

2 展開

活動名	学 習 活 動	教 師 の 支 援	主な見取りの視点
か か わ る 活 動 (45)	<p>1 学習のめあてを知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分とアンソニーさんの違うところや同じところを見つけよう</div> <p>2 直接交流をする</p> <p>(1) ねらいに迫るための活動 をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンソニー氏の自己紹介を聞き、自分との共通点や相違点を見付ける <p>(2) 児童の計画による活動をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会いを楽しむためのゲームをする <p>(3) ねらいに迫るための活動 をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンソニー氏に質問し、自分との共通点や相違点を見付けるゲームをする（インタビューゲーム） 	<p>自己紹介に子どもの頃の遊びや小学校の様子を入れて話していただく</p> <p>身体的な特徴などではなく、話の内容から共通点や相違点を見付けるようにさせる</p> <p style="text-align: center;">（フレンドカード）</p> <p>担当になった児童にゲームのルールを説明させる</p> <p>1回ずつどの児童にも質問させ、その後は、挙手により質問するようにさせる</p> <p style="text-align: center;">（フレンドカード）</p>	<p>ゲームで質問したか</p>
す 感 る 情 活 を 動 共 有 (15)	<p>3 シェアリングをする</p> <p>(1) 直接交流をした感想を話し合う</p> <p>(2) 「相違点があっても仲良くなることができるか」について話し合う</p>	<p>1回目のシェアリングなので、気付いたことを中心に話すようにさせる</p> <p>感想は全員に発言させるようにする</p>	<p>シェアリングで気付いたことを話したか</p>
見 つ め る 活 動 (20)	<p>4 記録する</p> <p>(1) フレンドカードに記録する</p> <p>(2) フレンドステップ・フレンドメモリを使って自己評価をする</p> <p>(3) 次の交流活動に向けて、自分の課題を決める</p>	<p>交流やシェアリングをとおして気付いたことを中心に記録するようにさせる</p> <p style="text-align: center;">（フレンドカード）</p> <p>ねらいにかかわるような記述については、紹介し、他の児童にも広げる</p>	<p>生活や文化の共通点や相違点に気付いたか</p>
か か わ る 活 動 (10)	<p>5 計画を立てる</p> <p>(1) 交流活動2のゲームを考える</p>	<p>「アンソニーさんについて分かったことを生かすように」という観点で計画を立てるように児童に伝える</p> <p style="text-align: center;">（フレンドカード）</p>	<p>アンソニー氏について分かったことを基に、ゲームを計画したか</p>

...働きかけようとする意識

...知ろうとする意識

...考えようとする意識

〔交流活動2〕 内面への気づきの段階 学習活動案（第4・5時）

1 ねらい

児童と異文化をもつ人の思いや価値観等、内面の共通性や違いに気付かせる。

2 展開

活動名	学 習 活 動	教 師 の 支 援	主な見取りの視点
か か わ る 活 動 (45)	<p>1 学習のめあてを知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>アンソニーさんが感じたり考えたりしていることを、自分が感じたり考えたりしていることとくらべてみよう</p> </div> <p>2 直接交流をする</p> <p>(1) 児童の計画による活動をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化をもつ人について分かったことを生かしたゲーム <p>(2) ねらいに迫るための活動をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの価値観等が表れるゲームをする（四つの窓） ・アンソニー氏の話、「日本に来て感じたこと」についての話を聞く 	<p>担当になった児童にゲームのルールを説明させる</p> <p>下記のような質問に対して、四つの選択肢から一つ選び、理由を話し合う</p> <p>「無人島に持って（連れて）行くとしたら」</p> <p>「一年のうちで好きな日は」</p> <p>「外国の人と接するとき、一番大切だと思うことは」</p>	<p>ゲームで話しかけたか</p>
す 感 る 情 活 を 動 共 有 (15)	<p>3 シェアリングをする</p> <p>(1) 直接交流をした感想を話し合う</p> <p>(2) 自分とアンソニー氏の感じ方、考え方の共通性や違いについてどう思うかを話し合う</p>	<p>感じたことや気付いたこと、考えたことについて話し合う</p> <p>感想は全員に発言させるようにする</p>	<p>シェアリングで感じたことを話したか</p>
見 つ め る 活 動 (10)	<p>4 記録する</p> <p>(1) フレンドカードに記録する</p> <p>(2) フレンドステップ、フレンドメモリを使って自己評価をする</p> <p>(3) 次の交流活動に向けて、自分の課題を決める</p>	<p>交流やシェアリングをとおして感じたことや気付いたこと、考えたことを記録させる（フレンドカード）</p> <p>ねらいにかかわるような記述については、紹介し、他の児童にも広げる</p>	<p>異文化をもつ人の思いや共通性・違いがある理由を考えることができたか</p>
か か わ る 活 動 (20)	<p>5 計画を立てる</p> <p>(1) 交流活動3の計画を立てる</p>	<p>ゲームだけではなく、交流全体の計画を立てさせる</p> <p>交流の計画を立てる観点として、「学んだことを生かすこと」「アンソニーさんに対する自分たちの思いが表れるようにすること」の二つを伝える（フレンドカード）</p>	<p>相手について学んだことを基に相手の立場に立って交流の計画を立てようとしたか</p>

...働きかけようとする意識

...知ろうとする意識

...考えようとする意識

〔交流活動3〕 内面の理解の段階 学習活動案（第6・7時）

1 ねらい

異文化をもつ人の内面にふれ、相手の立場に立って考えようとする意識を児童にもたせる。

2 展開

活動名	学 習 活 動	教 師 の 支 援	主な見取りの視点
か か わ る 活 動 (45)	<p>1 学習のめあてを知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分たちの気持ちを伝え、アンソニーさんの思い出にのこるような交流をしよう </div> <p>2 直接交流をする</p> <p>(1) 児童の計画による交流会をする</p> <p>(2) ねらいに迫るための活動をする ・アンソニー氏の「生き方について」の話を聞く</p>	アンソニー氏とかがわかることができない児童を励ます	交流の中で自分の気持ちを伝えたか
す 感 る 情 活 を 動 共 有 (15)	<p>3 シェアリングをする</p> <p>(1) 直接交流をした感想を話し合う</p> <p>(2) 自分たちが計画した交流会について、アンソニー氏が感じたことを聞く</p>	アンソニー氏の生き方や、自分たちが計画した交流について感じたことや気付いたこと、考えたことについて話し合わせる 感想は全員に発言させるようにする	考えたことをシェアリングで話しているか
見 つ め る 活 動 (30)	<p>4 記録する</p> <p>(1) フレンドカードに記録する</p> <p>(2) フレンドステップ、フレンドメモリを使って自己評価をする</p> <p>(3) アンソニー氏への手紙を書く</p>	交流やシェアリングをとおして感じたことや気付いたこと、考えたことを記録させる （フレンドカード） ねらいにかかわるような記述については、紹介し、他の児童にも広げる 手紙は、児童の思いを伝えるような内容になるように支援する （手紙）	異文化をもつ人の生き方について自分の感想や考えをもつことができたか

...働きかけようとする意識

...知ろうとする意識

...考えようとする意識